

2020年度事業報告



学校法人 城星学園

はじめに

学校法人の健全経営とともに充実発展をはかるため、2020年度においては、理事長の「2020年度からの学園運営方針(別掲)」に基づいて、各校種が一つになって、学園の建学の精神のもとに教育活動を推進した。なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、年度内において度々学園全校休校を余儀なくされ、3密を避けるため、各学校行事が休止や縮小になるなど、教育活動に多大な影響を被った。こういった状況の中、創立者ドン・ボスコの「こどもを愛するだけでは足りない、こどもが愛されていると感じなければならない」という言葉に代表される教育理念は再認識され、その教育理念のもとに、今後も本学園の教育活動を展開していく。

また、外部に対する情報公開とともに積極的な自己点検評価・学校評価が求められており、2020年度においても学園後援会との連携のもと、全保護者あてにアンケートを実施し、貴重なご意見が多数寄せられた。その結果を学園の教育活動に活かしながら、2020年度学校評価としてまとめた上で情報公開するとともに、2021年度に向けてさらに充実した評価活動の実施と教育活動のさらなる充実・推進に繋げていきたい。

《2020年度の学園運営方針》

1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する。(ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める。)
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する。(被災防止力、対応力を高める)
3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する。(教職員研修を体系的に実施する)
4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する。(サレジオ教育が目指す姿を定義し、学園内外に訴求する)
5. 自然に挨拶が交わせる学園にする。(教職員が率先して、子どもたち、保護者、お客様に挨拶をする)

《2020年度取り組み事例》

- ・大阪星光学院との連携事業の実施。
- ・各校種の教育活動及び広報活動等(各校種の活動報告参照)。
- ・各校種の自己評価及び学校評価(全保護者アンケート)の実施。
- ・幼稚園未就園児対象の体験広場や預かり保育等による子育て支援の実施。
- ・学園広報活動の充実(各校種の活動報告参照)。
- ・はぐくみの園の活動、JAT(城星学園課外教育活動)プログラムの実施。
- ・事業計画の充実に向けた計画書の見直し。
- ・教員の宗教研修、研究授業・保育の実施。
- ・教育環境の維持向上のために、約7千万円の施設・設備投資。

次頁より、各校種の教育活動等について報告する。

1. 法人の概要

建学の精神 : 城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切にする『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命とする。

所在地 大阪府大阪市中央区玉造2丁目23番26号

法人成立の年月日 昭和28年3月25日

学校設置認可年月日

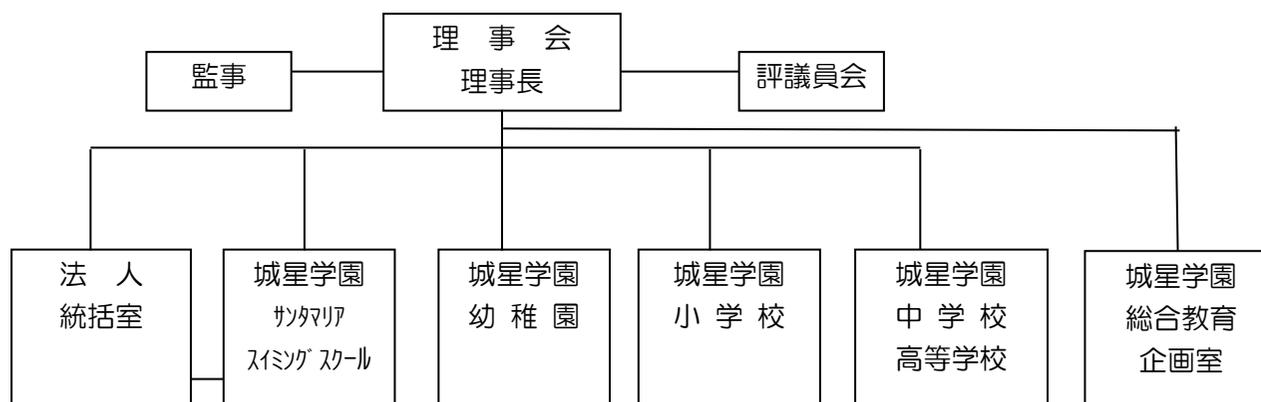
幼稚園 昭和28年3月16日

小学校 昭和28年3月16日

中学校 昭和34年2月27日

高等学校 昭和37年1月14日

学校法人 城星学園 組織図 (2020年4月1日現在)



1) 設置学校及びクラス数

(2021年度)

城星学園幼稚園	城星学園小学校	城星学園中学校	城星学園高等学校(全日制普通科)
3年保育 3クラス	1年 4クラス	1年 1クラス	1年 Allegro コース 2クラス、Vivace コース1クラス
2年保育 3クラス	2年 3クラス	2年 1クラス	2年 Allegro コース 2クラス、Vivace コース1クラス
1年保育 3クラス	3年 3クラス	3年 2クラス	3年 Allegro コース 2クラス、Vivace コース1クラス
計 9クラス	4年 3クラス	計 4クラス	計 9クラス
	5年 3クラス		
	6年 3クラス		
	計 19クラス		

(2020年度)

城星学園幼稚園	城星学園小学校	城星学園中学校	城星学園高等学校(全日制普通科)
3年保育 3クラス	1年 3クラス	1年 2クラス	1年 総合進学コース 2クラス、特別進学コース1クラス
2年保育 3クラス	2年 3クラス	2年 2クラス	2年 総合進学コース 2クラス、特別進学コース1クラス
1年保育 3クラス	3年 3クラス	3年 2クラス	3年 総合進学コース 2クラス、特別進学コース1クラス
計 9クラス	4年 3クラス	計 6クラス	計 9クラス
	5年 3クラス		
	6年 3クラス		
	計 18クラス		

2)定員および在籍者数(各5月1日現在)

年 度	幼稚園 (定員 280)		小学校 (定員 600)		中学校 (定員 180)		高等学校 (定員 450)		計	増減 (対前年度)
	クラス	現員	クラス	現員	クラス	現員	クラス	現員	現員	
2021	9	263	19	605	4	68	9	158	1,094	△14
2020	9	263	18	595	6	75	9	174	1,108	△37

3)役員等・教職員

役員等:

年 度	理事	監事	評議員
2021	8人	2人	17人
2020	8人	2人	17人

教職員:

(5月1日現在) (人)

年 度	幼稚園			小学校			中学校			高等学校			法人統括室			S S			計
	専任	常勤	非常勤	専任	常勤	非常勤	専任	常勤	その他										
2021	13	3	9	24	13	5	3	4	0	16	7	11	7	7	3	2	3	22	152
	計 25			計 42			計 7			計 34			計 17			計 27			
2020	14	4	9	22	9	5	4	6	0	19	6	12	8	8	3	2	3	24	158
	計 27			計 36			計 10			計 37			計 19			計 29			

4) 役員会の開催

① 理事会・評議員会

理 事 会: 2020年 5月
 2020年 8月
 2020年11月
 2021年 3月

評議員会: 2020年 5月
 2021年 3月

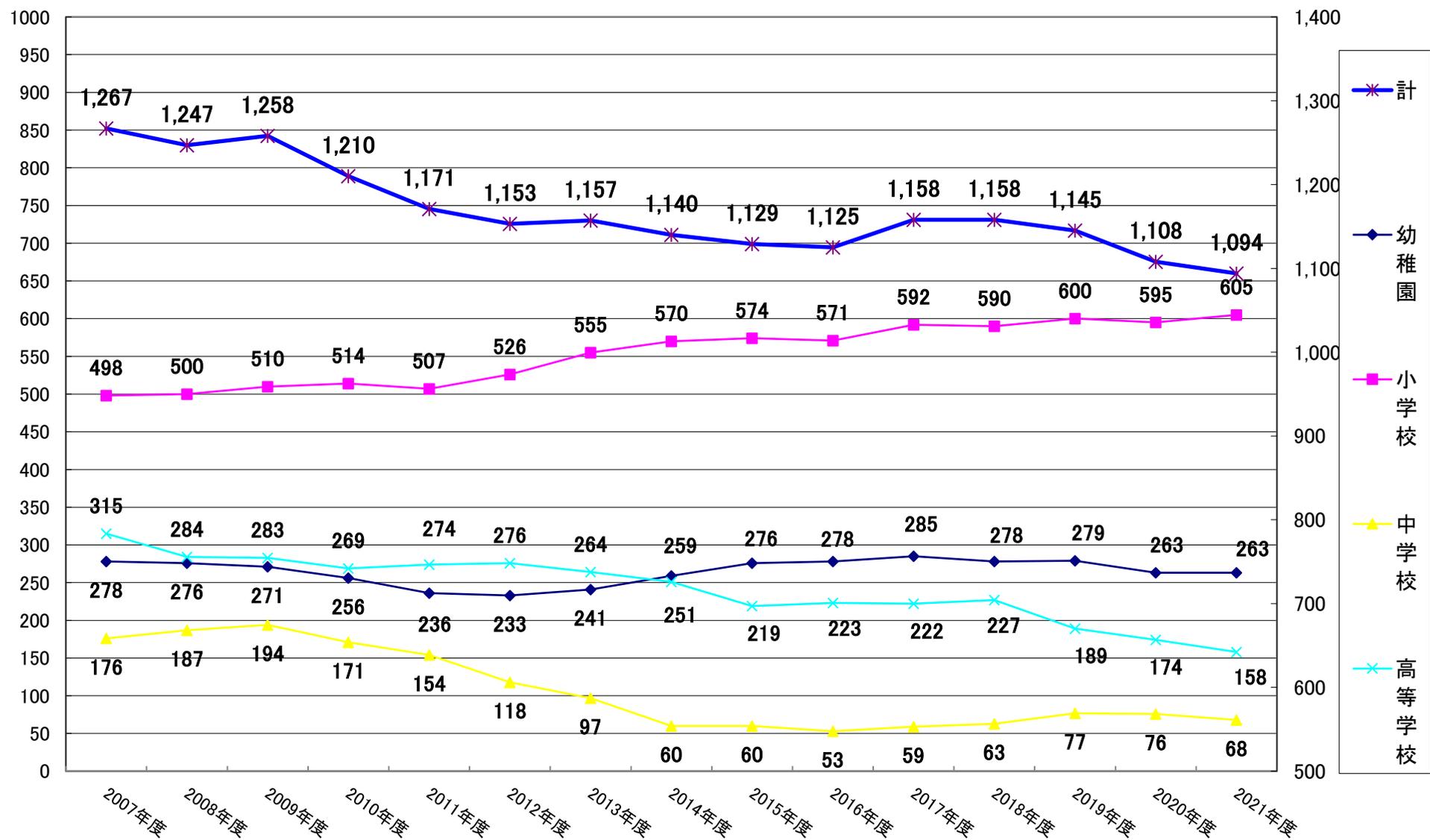
② 監 査: 2020年 5月

2. 募集計画及び教育計画等

()は内部進学者数。 ※別途入園者含む。

年度	区 分	幼稚園			小学校	中学校	高等学校
		3年保育	2年保育	1年保育			
2022	新入生募集人員	90	若干名	若干名	約100	募集停止	75
2021	新入生募集人員	84	若干名	—	100	50	80
	志願者数	176	11		211	22	69
	受験者数	163	11		190	22	68
	合格者数	106	10		132	21	68
	入学者数	90	5		114(37)	20(7)	54(19)
2020	新入生募集人員	84	若干名	—	100	50	80
	志願者数	200	19		175	31	74
	合格者数	106	6		120	29	70
	入学者数	80	6		100(30)	24(6)	54(18)

生徒数推移



学校法人城星学園 中期行動計画-2020年度のふりかえり

建学の精神:

城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ(ドン・ボスコ)の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切にす『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命としています。

教育理念:

「教育は心の問題であり、青少年を愛するだけでは足りません。青少年が愛されていると感じられるように彼らと共に生きる」

【中期方針・2020年度部門別行動計画及びその評価】

《次頁以下のとおり。》

法人統括室

中期方針	2020年度方針	中期行動計画	2020年度行動目標	ねらい（評価のポイント）	年度評価
1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する	ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める	(A) 福音を感じさせる施設・設備の整備を行う	ドン・ボスコやマリア・マザレロに関する文献等を充実させる	ドン・ボスコ、マリアマザレロの学校であることの意識向上	△
		(B) カトリック精神の理解を深める	カトリック関連宿泊研修(宮崎)を実施する	学園の成り立ちへの理解の深化	コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。
		(C) 地域への貢献を深める	城星キッズクラブの行事を充実 〈地域の歴史を学ぶ遠足等を、はぐくみの園との共同実施を検討）させる	地域の方々と良好な関係を構築、地域の子どもたちの健全育成	コロナウイルス感染症の影響により実施できず、今後の見通しが立っていない。
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する	被災防止力、対応力を高める	(A) 防災・防犯マニュアルに基づく、実地訓練を行う	防犯マニュアルを改訂し、津波避難等を実施する	教職員の防災知識の向上とともに、有事に際し迅速に行動できる職場の意識の醸成と体制の構築	コロナウイルス感染症の影響により当面の予定がわからない為、実施できていない。
		(B) 地域の防災活動に目を向ける	大阪女学院・大司教区との連携とともに、地域の防災体制についての理解を深めるとともに地域に協力できる範囲を検討する	地域との連携強化	コロナウイルス感染症の影響により実施できていない。
		(C) 防災備蓄品を機能的に整備する	備蓄品などを機能的に使用できるように全教職員が、設置場所などを把握する	様々な状況に対応可能な準備	○

3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する	教職員研修を体系的に実施する	(A) 在籍教職員の資質を向上させる	マナーアップ、モラル研修を企画・実施する	教育のみならず、幅広い視野を持った良き社会人の育成	マナーアップやモラル研修のオンライン実習、文献等からのレポート等でそれぞれの学びを深めていく必要がある。
		(B) 新規入職者の資質を向上させる	ビジネスマナー等の基本スキルの研修・セミナーに参加やカトリックについての研修を実施する	学園内における人材育成強化と人を育てる土壌づくり	△
		(C) 教育相談室を設置し、教職員の抱える問題に対応する	組織的対応に向けたバックアップ体制を強化する	組織的対応力強化と教職員の問題解決能力向上	△
4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する	サレジオ教育が目指す姿を定義し、学園内外に訴求する	(A) 大阪星光学院生徒の学園施設設備利用の促進および教職員の交流を深める	合同親睦会への積極的な参加、参加しやすい体制づくりを行う	家族的交流の推進	with コロナ継続のため、交流の手法も考えていく必要がある。
		(B) 事務部門に教育活動支援部門を設ける	水泳等クラブ活動支援、プログラミング授業支援、授業用機材の貸し出しを行う	教育活動の充実および教育資源の効率的有効活用	○
		(C) S S スタッフによる教育活動の支援を充実させる	水泳授業・クラブ活動をサポート、体育館の美化・機能性を向上させる	中高の入学意欲を高めるような魅力ある部活作り	○

5. 自然に挨拶が交わせる学園にする	教職員が率先して、子どもたち、保護者、お客様に挨拶をする	(A) 教職員紹介ブックの充実	紹介ブックを早期に作成し配布する	教職員同士の良好な関係性構築	○
		(B) 教職員のレクリエーション企画	教職員家族への学園施設開放行事を実施する	帰属意識の向上	コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

総合教育企画室

中期方針	2020年度方針	中期行動計画	2020年度行動目標	ねらい（評価のポイント）	年度評価
1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する	ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める	(A)カトリック教会の国内・国外のネットワークとの関係を深める	地域の教会において城星学園の認知度をさらに高めるとともに、募集上の効果を得る	カトリック教会とカトリック学校の共栄	△
		(B)各校種において、シスター方のメッセージに接する機会を増やす	シスター方のメッセージ集(動画を含む)を作成する	学園のアイデンティティの再確認	△
		(C)卒業生や、その保護者との関係強化を図る	同窓会主催イベントに積極的に協力する。卒業生の保護者の組織化に着手する	学園関係者全体の協力関係の深化	コロナ禍のもと、イベントなどを通じて協力関係を深めることができなかった。
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する	被災防止力、対応力を高める	(A) 防災関係の教育的コンテンツを収集し、図書館などに集積する	防災教育に役立つ基礎的な映像資料等を収集する	防災教育をさらに深めていくための準備	△
		(B) 感染症対策について、学園全体として意識向上を図る	新型コロナウイルス対応についての知見を深め、今後の感染症対策に活かす	より幅広い視野での安全確保	○
3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する	教職員研修を体系的に実施する	(A)校種を枠を超えた合同研修の機会を増やす	小学校・中高の合同一泊研修会を開き、教職員の資質向上を図る	研修効果の向上	△
		(B)教職員が 他校種の教育活動を見学する機会を増やす	各校種から、他校種教職員が見学可能な行事等についての情報を集める	教職員の知見の深化	△
		(C)困難を抱えている園児・児童・生徒に対する教職員の共感力を高める	ベテラン教職員の経験に学ぶ会（懇話会・茶話会等）を企画する	教職員の問題解決能力の向上	△

4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する	サレジオー教育が目指す姿を定義し、学園内外に訴求する	(A)学園全体の広報活動の統一性をさらに高める	各校種のパフレット・ウェブサイト・説明会についての情報共有をより緊密にする	学園全体としての訴求力の向上	△
		(B) 広報活動において、サレジアンスクール間の協力を深める	大阪星光学院との広報活動面での連携を深め、共同活動を増やす	サレジアンスクール全体としての訴求力の向上	△

5. 自然に挨拶が交わせる学園にする	教職員が率先して、子どもたち、保護者、お客様に挨拶をする	(A)他校種の教職員との交流の機会を増やす	校種の枠を超えて、教職員の同好会・親睦会的活動の機会を設ける	教職員の一体感・親近感の向上	同好会・親睦会をはじめとする学園教職員の交流の機会を得られていない。
		(B)校種の枠を超えて職務上での協力を進める	ICTを活用して職務の効率的な分担を図る	公平に協働しているという意識の向上	△

6. 教育計画		サレジアンスクールの伝統的な教育法を真摯に実践し続ける	各校種の取り組みについての情報共有を進める	学園の教育的伝統の保持	○
		教育の新しいトレンドや技術についての情報収集を進め、導入の可能性を探る	プログラミング、英語4技能の習得等についての研修の機会を増やす	保護者の関心・ニーズへの対応	△

7. 募集計画		募集・広報活動における校種を超えた協力を進める	募集・広報活動について、校種を超えた情報共有・意見交換の機会を増やす	学園全体としての訴求力の向上	△
		サレジアンスクール間の連携協力や「はぐくみの園」イベント等を通じて学園への関心・評価を高める	連携協力の新しい形態を模索し、「はぐくみの園」の新しいイベントを企画する	学園全体としての志願者の増加	連携協力と「はぐくみの園」の活動において、所期の目標を達することができなかった。

幼稚園

中期方針	2020年度方針	中期行動計画	2020年度行動目標	ねらい（評価のポイント）	年度評価
1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する	ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める	(A)キリストの教えと、創立者ドン・ボスコとマリア・マザレロの生き方を学ぶための研修の場を設定する	カトリックの精神に基づいた教育活動を日々実践するとともに拡充していく	カトリック・ミッションスクールの教員としての意識改革がなされ、いかに行動に変化が見られたか	○
		(B)アシステンツァの理解を深め、マリア様、イエス様の心に倣い実践する	「子どもたち自身が愛されている」と実感できるまでの深い愛と見守りをもって、キリストに倣う者となる	保護者との信頼関係をいかに構築し、理解と協力を得られたか	○
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する	被災防止力、対応力を高める	(A)安全教育を実践する	防災・減災・防犯の為の研修や訓練を実施するとともに、さらに拡充させる	子どもたちの意識と行動の変化がどのように顕われたか	○
		(B)安全・安心の為の教育環境整備を行う	教育環境全般にわたり、定期点検を実施し、危険回避を図る	危険箇所の発見・改善に万全を尽くすべく鋭敏に反応できたか	○
3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する	教職員研修を体系的に実施する	(A)教職員の資質向上を目指した研修を実施する	教育者としてのスキルアップと良き社会人としての範を示す為の意識向上を図る	円滑な人間関係に基づく協働意識のもと、組織運営の活性化につながったか	△
		(B)園児に関する情報の共有を図る	園児一人一人の健全な成長に根差した情報交換を綿密に行う	全教職員が情報を共有し、組織としての対応ができたか	○

4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する	サレジオ教育が目指す姿を定義し、学園内外に訴求する	(A)他校種の児童・生徒との交流の機会を広く設ける	従前の交流の方法や時期にとらわれず、一層の拡大と充実を図る	園児・児童・生徒間にとどまらず、教職員同士、さらには保護者間の交流ができたか	△
5. 自然に挨拶が交わせる学園にする	教職員が率先して、子どもたち、保護者、お客様に挨拶をする	(A)教職員間で挨拶を励行する	円滑な職場環境の構築とモラルやコンプライアンスの向上に向けた指導や研修を実施する	各自が積極的に気持ちのこもった挨拶をし、職場環境作りに貢献できたか	○
		(B)園児に対し、挨拶の大切さ等の指導を継続し、励行を促進する	園児一人一人に目配り、気配りを怠らず、良き社会人としての基本的生活習慣の定着を図る	良き社会人としての範を示し、教え導くことができたか	○
		(C)より良い教育共同体作りに努める	教職員間、保護者間の強固な信頼関係の構築に向け、様々な機会を通して意思疎通を図る	「親の集い」や各集会等において、内容を精査し、目的を達成し得たか	△
6. 教育計画		ドン・ボスコ及びマリア・マザレロの教育理念である予防教育法の一層の充実を図る	創立者の建学の精神の研究をさらに深め、日々の教育活動の実践に活かす	日常の教育活動を実践する上で、成果として顕われたか	△
7. 募集計画		園の方針や活動内容の積極的な発信と「体験ひろば」の内容の充実と検証を通して、保護者への啓発を図る	ガイドブック、パンフレット、HP等紹介媒体を用い、園紹介を行い、募集につなげる	3年保育の新入園児数を90名強、確保することができたか	○

小 学 校

中期方針	2020 年度方針	中期行動計画	2020 年度行動目標	ねらい（評価のポイント）	年度評価
1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する	ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める	(A)ミッションスクールとしての意義をより強く認識する	宗教研修を活性化する(宗教研修、ドン・ボスコ研修、1泊研修)「誠実な社会人、キリストに倣う者」の理解を深め、具現化を図る	教員一人ひとりが聖書マタイ6・10を読み深め、研修を経ての具現化	○
		(B)ミッションスクールとしての特性を具現化する	ドンボスコを初めとする聖人の生き方に倣う聖書をもとに光の子集会を実施し、事前・事後指導を大切に扱い、宗教科道德との関連を図る	子どもたちの意識、実際の行動の変化	△
		(C)保護者の理解度を向上させる	保護者対象勉強会、ドンボスコ勉強会(シスター、校長、教頭)を実施する	カトリック精神及び創立者ドンボスコに対する保護者の意識高揚と行動の変化	△
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する	被災防止力、対応力を高める	(A)各学年にふさわしい安全教育を実施する	学年別各種教室を実施する 特に下校指導に重点を置き、教師による立番指導、巡回指導を強化する 防犯訓練を実施する	児童及び教員の意識高揚、具体的な行動の確認	△
		(B)危機管理研修を実施する	心肺蘇生法研修を実施する 炊き出し訓練を実施する 新1年生対象に災害時児童引渡し訓練を実施する	週1回の校舎内運動場の安全点検及びけが0デー(毎週金曜日)の意識化	△
		(C)避難訓練を実施する	全校避難訓練を年3回実施する 二次災害を考えた(津波等)避難訓練を実施する	防火・防災に関する意識高揚	△

3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する	教職員研修を体系的に実施する	(A)教職員研修を実施する	ア)「リスクマネジメント」に関する研修を実施する SNS, ライン等による弊害, 保護者対応に関する研修を実施する	危機管理, 保護者対応に関する教職員の意識向上	○
			イ)新任研修会を実施する	建学の精神と本校の教育についての理解深化	○
		(B)児童に関する情報交換を実施する	学年会, 学年部会, 職員会議等において日常的に情報交換を行う要望に応じて, 児童または保護者対象の教育相談を実施する	全児童の情報についての全教員の共有化	○

4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する	サレジオ教育が目指す姿を定義し、学園内外に訴求する	(A)全校種合同研修会を実施する	合同研修会を実施する チャレンジゼミを継続実施する すてらの会への参加を奨励する	全校種の教員の関係性構築	△
		(B)幼稚園と小児童の交流会を実施する	交流会を実施する 幼小の教員情報交換会を実施する	交流会の実施と幼小教員の連携意識向上	コロナ禍により,幼稚園との合同行事は実施できなかった。
		(C)小と中高, (星光学院)の教員参加による授業研究を実施し交流を図る	授業研究会の案内及び相互参加と意見交換会を実施する	授業見学会の実施と小中高教員の連携意識向上	コロナ禍により実施せず。6年授業に数学の教員の依頼をし,現在進行形である。

5. 自然に挨拶が交わせる学園にする	教職員が率先して、子どもたち、保護者、お客様に挨拶をする	(A)教職員間で挨拶を励行する	教職員間で気持ちの良い明るい挨拶を継続して励行する 「紹介ブック」を活用する	本校職員としての意識向上、互いの注意喚起	△
		(B)児童に対し挨拶・会釈の指導を行い励行を促す	児童に対し静かな右側廊下歩行を徹底させるとともに、挨拶・会釈の指導を行い励行を促す教員が模範を示す	良き社会人育成の「鏡」となること	△
		(C)保護者に対し啓発を行う	母親教室(校長, 教頭, 教員, 講師招聘)で啓発を行う	教育共同体としての認識深化	△
6. 教育計画		(A)アシステンツァを励行する	「いつもどこでも子どもと共に」の実践を図る 児童が愛されていると感じる指導の在り方, 言葉のかけ方を考える	教育成果の向上	○
		(B)聖書マタイ6・10を読み深める	「みこころが天に行われるとおりに、地にもおこなわれますように」の具現化に努める	サレジオ家族の一員としての意識化	○
7. 募集計画		(A)学校の魅力を発信する	媒体の更なる活用を図る(計画詳細は別紙)本校へのニーズの分析を行う	新入生 105 名確保	○
		(B)説明会・オープンスクール等を実施する	各幼稚園、塾への案内及び近隣塾への小規模説明会を実施する 入試速報会を実施する	宗教教育をベースにした心技体バランスのとれた児童を育成する学校であることと教育改革の進捗状況の周知	△

中学校・高等学校

中期方針	2020年度方針	中期行動計画	2020年度行動目標	ねらい（評価のポイント）	年度評価
1. ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する	ドン・ボスコ、マリア・マザレロについて学びを深める	(A)カリックの精神、ドン・ボスコとマリア・マザレロの教育、特に「アシステンツァ」の理解を深める	聖書の学びを通じて創立者の教育を深めていく	サレジオの学校の教員としての意識向上	△
		(B)生徒教員共に、祈りと自己の振り返りの時をもつ	朝礼、終礼の祈りを丁寧に、落ち着いた環境の中で行うために、司牧部を中心に各担任、副担任が指導にあたる	「教育は心の問題である」という創立者の言葉に対する教員の意識向上	○
2. 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する	被災防止力、対応力を高める	(A)様々な面における安全教育を向上させる	新型コロナウイルス、SNS使用、防犯、薬物乱用防止、防災対策のため常に研修や話し合いの機会をもつ	教員、生徒の危機管理意識の向上	○
		(B)問題事象の早期発見、早期対応を行う	管理職、学年、生徒指導部、教育支援との情報共有を密に行い、組織的に対応する	生徒の安全確保、問題事象の早期対応	○

3. 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する	教職員研修を体系的に実施する	(A)2020 年を皮切りとする改革に向けて多様な価値を求める教育の新しい方向性を実現する	教師力(授業力・生徒指導力)の向上をはかる 研究授業をし、研修会に参加する	教育の『質』向上	○
		(B)女子校の教育として、礼儀、マナー、身だしなみの指導力を向上させる	教員と生徒のふれあいを大切に し、指導の信頼に活かす	教育の『質』向上	△
4. 校種間、兄妹校間の連携を強化する	サレジオ教育が目指す姿を定義し、学園内外に訴求する	(A)「はぐくみの園」の精神に則り、15年、12年、6年一貫教育の賛同者を増やす	中学への内部進学者への増加を目指す	ドン・ボスコの学校として意識の向上	△
		(B)大阪星光学院との連携による互いの効果を求める	教科、部活動等、可能などころから大阪星光学院の教員と協働する機会を増やす	大阪星光学院との連携による本校の教育の拡幅	△
5. 自然に挨拶が交わせる学園にする	教職員が率先して、子どもたち、保護者、お客様に挨拶をする	(A)他校種、法人の教職員と共にあることを意識する	他校種、法人の教職員との自然な笑顔の挨拶、「紹介ブック」を用いながら顔と名前を知る	ファミリーとしての学園への帰属意識向上	△
		(B)社会人として、周囲に喜ばれる人を育てる	笑顔で自然に挨拶の声が飛び交う心の風土づくりを行う	城星全体としての one チーム感向上	○

6. 教育計画	(A) 中学、高校それぞれの段階における「自立」を育てる	「学びの森」「学びの森ジュニア」を通じて学びの楽しさを知る	好奇心を学びに繋げること	△
	(B) 丁寧で組織的な進路指導の継続と進路実績を向上させる	放課後自習サポートを手厚くし、難関大学に挑戦する生徒を増やす	生徒の自己実現と進路実績向上、中高の存続	△
7. 募集計画	生徒への予防教育の実践を通して、多様な学力をアップさせ、生徒募集につなげる	「学びの森」を通し、多様な学びに挑戦することで各々の個性、能力を伸ばし、大学入試改革にも対応できる学力がつくことをアピールし、生徒募集に繋げる	中学 40 名 高校 75 名の入学	△

3. 施設設備計画（報告）

教育環境整備の一環として、次の工事等を実施した。

工事・設備等名称		工事業者	整備目的	執行日	当初予定金額 (円)	執行金額(円)	差 額
①	SS駐輪場新設・小学校花壇新設工事	三井住建道路㈱	体育館南側の小学校花壇を運動場に移設し、移設後にサンタマリア用の駐輪スペースを設け、西門から体育館までの通行の安全をはかる。	3月	6,380,000	6,380,000	0
②	空調器更新工事(講堂1F系統)	㈱玉尾ショップ	空調の耐用年数の超過の為、更新する。(ピアルスン室・吹奏楽部室・軽音楽部室)	6月	2,420,000	2,420,000	0
③	LED化工事(高校・円形校舎、講堂1F通路)	朝陽電気㈱	照明をLED化し、園舎の照度アップ・電気代減・室温低下をはかる。	7月	9,755,900	9,020,000	735,900
④	学園内ブロック塀改修工事	㈱内外美装	建築基準法改正に伴う、既存不適合箇所の改修工事を行う。	3月	2,128,500	1,991,000	137,500
⑤	グラウンド鉄棒更新工事	㈱運動施設	老朽化に伴い、安全基準を満たした鉄棒に更新を行う。	5月	1,023,000	1,023,000	0
⑥	本館ウォータークーラー更新工事	㈱中西製作所	対応年数の超過及び経年劣化に伴い、機器更新工事(全9台)を行う。	3月	1,339,200	1,155,000	184,200
⑦	講堂1階図書室のリニューアル工事	㈱日興商会	図書館の多機能化、アメニティー向上に向けて、リニューアル工事を行う。	7月	51,273,596	34,186,900	17,086,696
⑧	中学棟1階多目的室化改修工事	㈱竹中工務店	現在の会議室を拡張し、多目的に活用できるように改修を行う。	未実施	113,069,000	0	113,069,000
⑨	講堂 舞台照明設備修繕工事	朝陽電気㈱	調光設備不良に伴い修繕を行う。	7月	6,050,000	5,500,000	550,000
追加	幼稚園バス駐車場整備工事	三井住建道路㈱	幼稚園バス用駐車場の舗装・整備工事を行う。	10月	9,900,000	9,900,000	0
計				—	203,339,196	71,575,900	131,763,296

※幼稚園バス駐車場用の土地取得 取得価額：1億3,500万円
場 所：大阪市天王寺区空清町
面 積：49.97坪

財務状況（報告）

次のとおりであるが、今後、各校種の適正な学費の設定、人件費比率の改善、各経費の見直し等を行いながら、収支の改善・安定を求めている。

